

# 一般会計予算の概要と特徴

# 286億4,200万円 【一般会計】

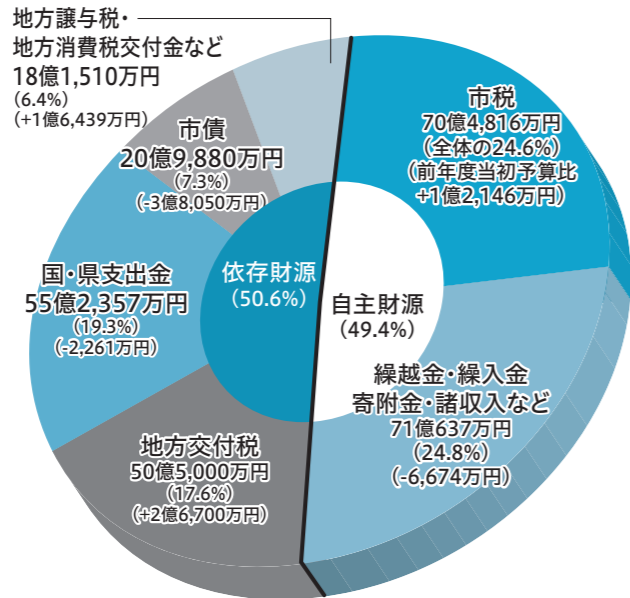
令和8年度

# 当初予算

## 歳入 286億4,200万円

### 市債について

公共施設の長寿命化工事や教育支援センター整備により借入が増える一方、保育施設整備補助やタントクセルセンター維持工事、東郷小学校長寿命化工事完了に伴う減額により、全体で減額を見込んでいます。



### 市税について

賃上げに伴う個人所得の伸びによる個人市民税の増加や住宅地の増加、企業の施設建設や設備投資等の伸びによる固定資産税の増加により、全体として増額を見込んでいます。

### 繰入金について

各種事業に対するふるさとづくり基金からの繰入、そのほか公共施設等総合管理基金や財政調整基金からの繰入を合わせ、減額を見込んでいます。

### 地方交付税について

国の地方財政計画や市税等の収入見込み、令和7年度決算見込み額などを考慮し、増額を見込んでいます。

### 国・県支出金について

保育施設の新設や公定価格の改定による保育給付費、デジタル関連経費、生活保護費に伴う財源を増額とする一方、保育施設整備補助、定額減税補給付金の皆減により、全体として減額を見込んでいます。

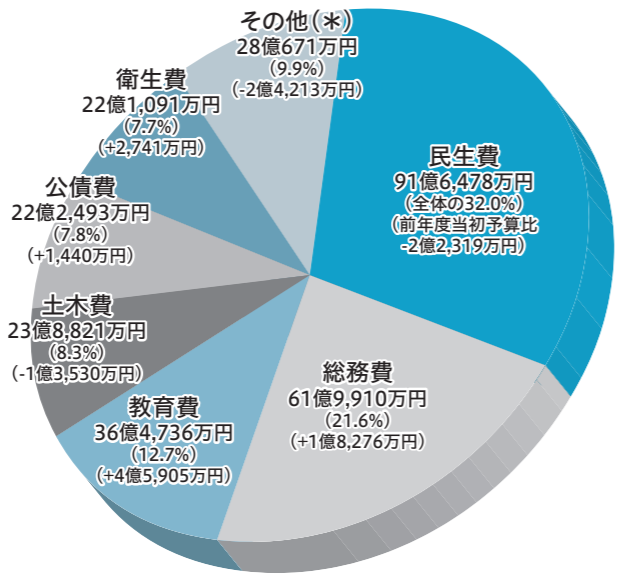
### 土木費について

北村山検診センターおよび大型商業施設周辺道路の整備費を増額して計上した一方、無散水消雪施設修繕工事や道路照明LED改修工事完了に伴う経費の皆減により、全体として減額を見込んでいます。

## 歳出 286億4,200万円

### 教育費について

小学校学校給食費無償化や教育支援センターの整備に係る経費を新規で計上したほか、社会教育・体育施設・学校の長寿命化に係る経費を計上し、AI型学習教材の導入等のICT教育関連経費、スクールサポーター等の増員に係る人件費を計上し、全体として増額を見込んでいます。



### 民生費について

ふれあいセンター長寿命化工事の設計費や子ども誰でも通園制度に係る経費、さくらんぼ保育所解体経費を新規で計上したほか、保育給付費、生活保護費を増額して計上した一方、保育施設整備補助やタントクセルセンター維持工事の完了により大幅に減額し、全体として減額を見込んでいます。

### 総務費について

山形連携中枢都市圏事業航空写真撮影に係る負担金や公金収納のデジタル化に伴う経費を新規で計上したほか、友好都市提携周年記念事業に係る経費やふるさと納税関連経費を増額して計上し、全体として増額を見込んでいます。

\*その他は、農林水産業費、商工費、消防費など

令和8年度一般会計当初予算は、過去最高額となる286億4,200万円を計上しました。歳入では、市税や地方交付税を増額計上するとともに、ふるさと納税の実績を踏まえて寄附金を増額計上しています。

歳出では、これまで力を入れてきた子育て支援やICT学校教育のさらなる充実に加え、AI活用や脱炭素化推進の各種施策等の新たな行政需要への対応経費、公共施設の長寿命化に係る経費を計上しています。

教育関連では、小中学校にAI型学習教材を導入する経費や、教育支援センターの整備に係る経費を新たに計上したほか、水泳授業の民間委託を試験導入する経費を計上しています。

子育て・福祉関連では、こどもの歯科パノラマX線写真検査等助成に係る経費や、新たに運営を開始する3つの保育施設に係る保育委託・給付費を計上したほか、ふれあいセンター長寿命化に係る経費を計上しています。

環境関連では、ごみ分別AI検索サービスの導入経費を新たに計上しています。

農業・商工観光関連では、クマ被害対策に係る経費を新たに計上したほか、ふるさと応援大使を積極起用する経費などを増額して計上しています。

そのほか、主な建設事業については、市民体育館や長瀬公民館などの長寿命化改良工事を実施するほか建設予定の北村山検診センターおよび大型商業施設周辺道路の整備に係る経費を計上しています。

一般会計		
会計名	令和8年度予算額	前年度比(%)
一般会計	286億4,200万円	0.3
特別会計		
※特別会計とは、特定の歳入を特定の歳出に充てるもので、一般会計の歳出と区分する必要がある事業などの場合に設置されています。		
会計名	令和8年度予算額	前年度比(%)
国民健康保険	47億6,700万円	△0.4
東根財産区	260万円	52.9
介護保険	45億2,600万円	1.0
市営墓地	370万円	0.0
後期高齢者医療	7億9,900万円	18.2
特別会計合計	100億9,830万円	1.5
企業会計		
※企業会計は、収益的支出の予算額を掲載しています。		
会計名	令和8年度予算額	前年度比(%)
水道事業	11億8,523.5万円	0.7
工業用水道事業	2億4,893.8万円	0.6
公共下水道事業	15億3,182.8万円	1.1
企業会計合計	29億6,600.1万円	0.9

## 財政用語解説

### ①「歳入」編

- 市税 市が徴収する税金  
市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、たばこ税、入湯税など
- 繰入金 主に各種基金の取り崩しによって繰り入れるお金
- 地方交付税 所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- 国・県支出金 特定の目的のために、国や県から交付されるお金
- 市債 事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金、市の借金
- 地方譲与税 国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金
- 自主財源 市が独自に得ることができるお金  
市税、分担金負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入など
- 依存財源 国や県から交付されたり、借り入れたりするお金  
地方交付税、国・県支出金、市債、地方譲与税など

### ②「歳出」編

- 民生費 子どもや高齢者などを対象とした福祉事業に使われるお金
- 総務費 市報や庁舎管理など、市の一般的な事務に使われるお金
- 教育費 小中学校や公民館、スポーツ、文化活動などに使われるお金
- 土木費 道路、橋、公園などの整備や維持に使われるお金
- 公債費 借り入れたお金の返済に使われるお金
- 衛生費 乳幼児の健診事業やごみの処理、環境保全などに使われるお金
- 農林水産業費 農林業の振興などに使われるお金
- 商工費 商工業の発展、観光振興などに使われるお金
- 消防費 消防や救急活動に使われるお金

※令和8年度に実施される主な事業の予算額は、7ページに掲載しています。